

事後評価アンケート結果

整理番号 H22 - 2

事業名	海岸環境整備事業	箇所名等	三沢漁港海岸
-----	----------	------	--------

アンケート対象	[三沢ビートルビーチ]から10km圏以内(三沢市、おいらせ町、東北町)と10~30km圏(八戸市、十和田市、七戸町、野辺地町、五戸町、南部町、六ヶ所村)の一般住民にアンケートを実施した。		
配布方法	アンケート対象範囲の1,200世帯(10km圏600世帯、10~30km圏600世帯)を電話帳から無作為に抽出し、郵送により配布した。	(配布部数)	1,200部
回収方法	返信用封筒(切手貼付)を同封し返送してもらった。	(回収部数)	314部
回収率	26.2% (314/1,200)		
アンケート結果			

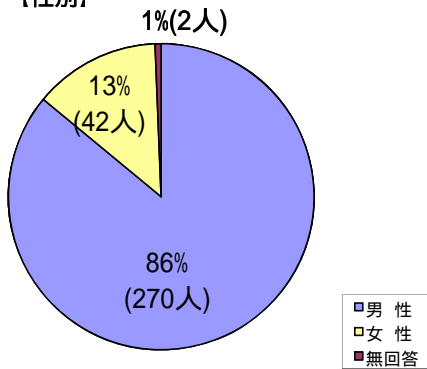
本アンケートでは、回答者の「三沢ビートルビーチ」の認知や利用によって、右表のように設問の対象を限定している。
 これにより、管理状況も含めて必要度や達成度の回答が正確なものとなったと考えられる。
 全回答数は314であったが、問7~問10では129、問11~問16は203となっている。
 また、CVMの計算のために無回答、抵抗回答等を排除した回答数は229となった。

表 アンケートの回答数と設問の対象数、費用対効果計算の対象とした回答数

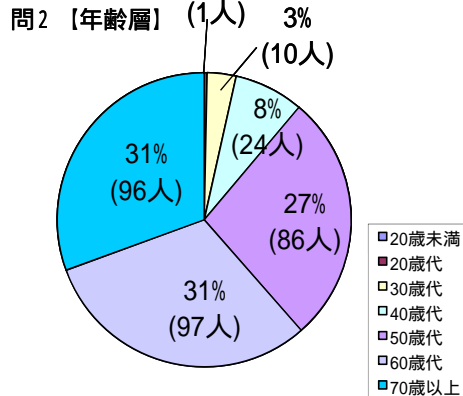
全回答数	314
「三沢ビートルビーチ」に行ったことがある(問7~問10の対象)	129
「三沢ビートルビーチ」に行ったことがある「三沢ビートルビーチ」を知っている(問11~問16の対象)	203
「三沢ビートルビーチ」を知っているが行ったことはない「三沢ビートルビーチ」を知らない(問17の対象)	185
費用対効果の算出に用いた回答(無関心、抵抗回答等を排除)	229

1. 回答者の属性

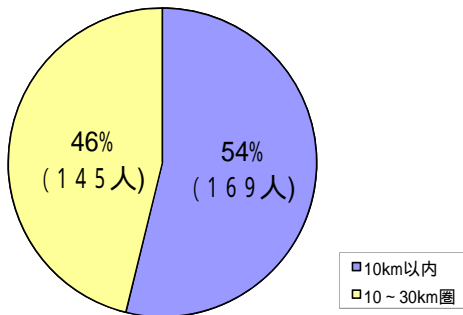
問1【性別】



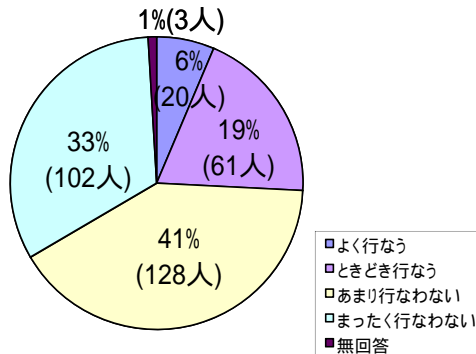
問2【年齢層】



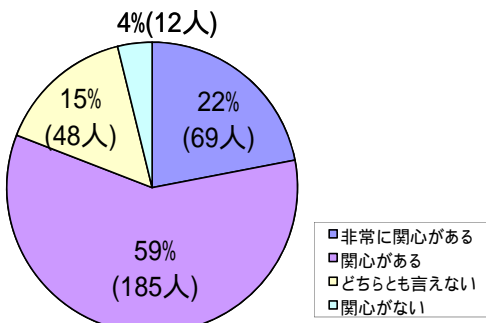
問3【お住まい】



問4【関心度】(海のレクリエーション)



問5【関心度】(自然環境・生活環境)



事後評価アンケート結果

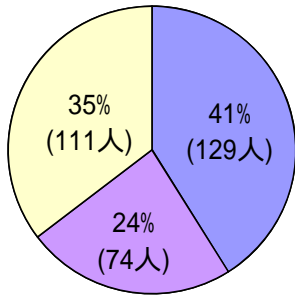
整理番号 H22 - 2

事業名	海岸環境整備事業	箇所名等	三沢漁港海岸
-----	----------	------	--------

アンケート結果

2. 三沢ビードルビーチについて

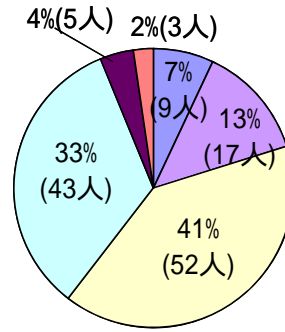
問6 【認知度】



- 知っているし、行ったこともある
- 知っているが、行ったことはない
- 知らない

問7 【利用回数】

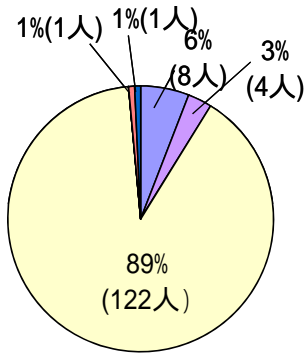
「三沢ビードルビーチ」に行ったことのある方を対象



- 年に11回以上
- 年に5～10回程度
- 年に2～4回程度
- 年に1回程度
- 年に1回未満
- 無回答

問8 【利用手段】(重複回答可)

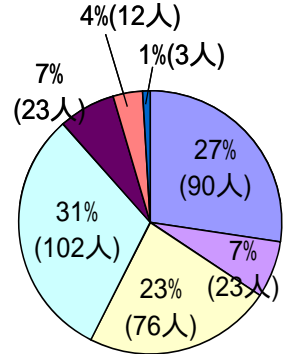
「三沢ビードルビーチ」に行ったことのある方を対象



- 徒歩
- 自転車
- 自動車
- バス
- 電車
- その他
- 無回答

問9 【利用施設】(重複回答可)

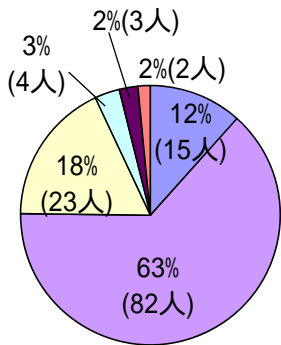
「三沢ビードルビーチ」に行ったことのある方を対象



- 海、砂浜
- シャワー
- トイレ
- 駐車場
- 緑地広場
- パーゴラ(日陰棚)
- その他

問10 【管理状況】

「三沢ビードルビーチ」に行ったことのある方を対象



- 適切
- おおむね適切
- どちらとも言えない
- あまり適切でない
- 適切でない
- 無回答

適切(おおむね適切)の理由

・きれい、良く管理されている(7件)

適切でない(あまり適切でない)理由

・年間を通じて管理していない(1件)

事後評価アンケート結果

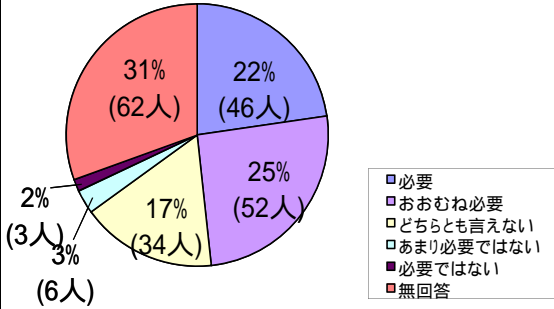
整理番号 H22 - 2

事業名	海岸環境整備事業	箇所名等	三沢漁港海岸
-----	----------	------	--------

アンケート結果

問11 【必要度】

「三沢ビートルビーチ」に行ったことのある方、ご存じの方を対象



必要(おおむね必要)な理由

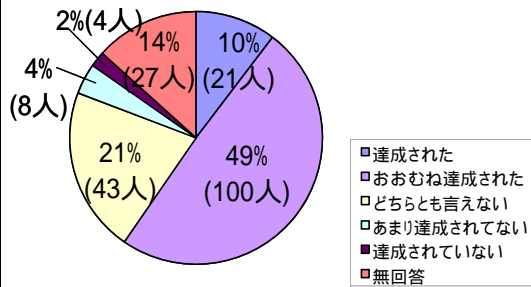
- ・他に海水浴場がないので(2件)
- ・透明できれいだから(1件)
- ・他の海岸は危険だから(1件)
- ・地域の活性化と環境保全のため(1件)
- ・湖水浴場はあるが海と違うから(1件)

必要ない(あまり必要ない)理由

- ・小川原湖水浴場があるから(1件)
- ・開設期間が短く、利用効率が高くない(1件)

問12 【達成度】

「三沢ビートルビーチ」に行ったことのある方、ご存じの方を対象



達成された(おおむね達成された)理由

- ・安全に泳げるようになった(3件)
- ・もう少し広くても良かった(1件)
- ・海水浴場が整備されたから(1件)
- ・認知度が低い(1件)

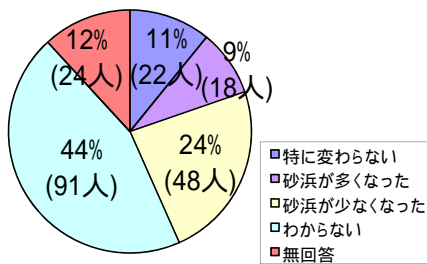
達成されていない(あまり達成されていない)理由

- ・もっと広報などが必要(2件)
- ・安全なつり場があればいい(1件)

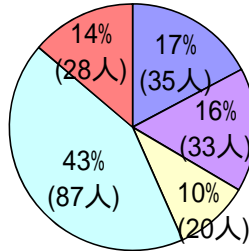
問13 【環境変化】

「三沢ビートルビーチ」に行ったことのある方、ご存じの方を対象

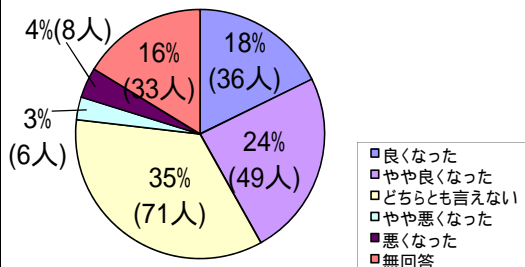
(1) 漁港の北側(六ヶ所村寄り)



(2) 漁港の南側(おいらせ町寄り)



(3) 三沢漁港周辺の環境



良くなった(やや良くなった)理由

- ・きれいになった(3件)

悪くなった(やや悪くなった)理由

- ・ゴミが多くなった(3件)
- ・夜中の暴走行為の騒音(1件)

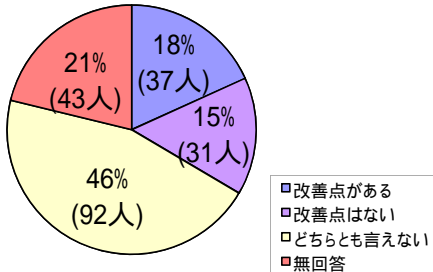
事後評価アンケート結果

整理番号 H22 - 2

事業名	海岸環境整備事業	箇所名等	三沢漁港海岸
-----	----------	------	--------

アンケート結果

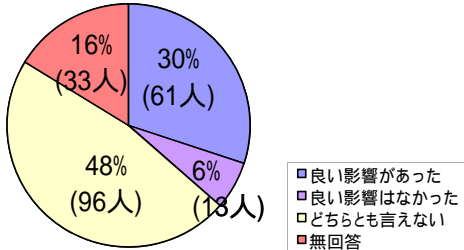
問14 【改善点】 「三沢ビートルビーチ」に行ったことのある方、ご存じの方を対象



「改善点がある」の内容

- ・もっと広報活動が必要(4件)
- ・通年で利用できるようにしてほしい(2件)
- ・国道との進入路の整備(1件)
- ・キャンプ場があったらよい(1件)
- ・木々や緑が棟の横に欲しい(1件)

問15 【その他の効果】 「三沢ビートルビーチ」に行ったことのある方、ご存じの方を対象



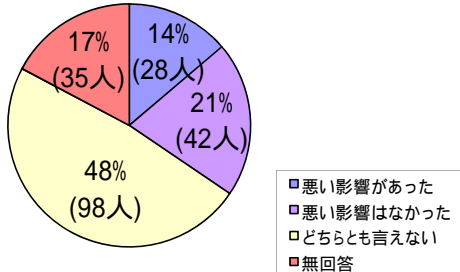
「良い影響があった」の内容

- ・事故防止、安全になった(2件)
- ・遊び場、楽しめる場所が増えた(4件)
- ・各種イベントに利用されている(1件)

「良い影響はなかった」の内容

- ・利用客が少ない(1件)

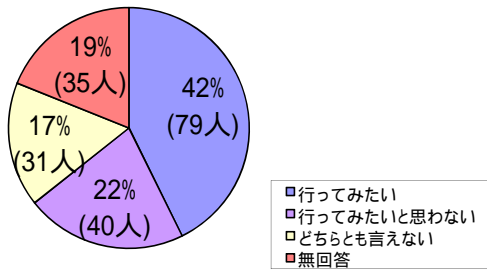
問16 【その他の影響】 「三沢ビートルビーチ」に行ったことのある方、ご存じの方を対象



「悪い影響があった」の内容

- ・ゴミ(7件)
- ・若者が深夜に集まり騒ぐ(1件)
- ・マナーの悪い行為が目立つ(1件)

問17 【利用意志】 「三沢ビートルビーチ」に行ったことがない方、ご存じない方を対象



行ってみたい理由

- ・整備状態を実際に見てみたい(6件)
- ・家族で楽しめるか確かめたい(2件)
- ・一度は行ってみたい(4件)

行ってみたいと思わない理由

- ・小川原湖があるので(1件)
- ・遠い(1件)
- ・ビーチに適さないと思うから(2件)

事後評価アンケート結果

整理番号 H22 - 2

事業名	海岸環境整備事業	箇所名等	三沢漁港海岸
-----	----------	------	--------

アンケート結果

問18 【三沢ビートルビーチに関する意見】

- ・イベント開催等、もっと広報、PRをするべき(11件)
- ・つり場所が欲しい、安心してつりができる場所を(4件)
- ・海つり公園が出入り禁止になっている(2件)
- ・防犯について徹底して欲しい
- ・子供が遊べる施設広場等(2件)
- ・屋根付の休み場が欲しい(1件)
- ・キャンプ場が欲しい(2件)
- ・ビーチの水泳場内に浮島が2~3ヶ所必要(1件)
- ・ビーチバレーなどのスポーツエリアがあっても良い(1件)

問19 【公共事業全般に関する意見】

- ・県内施設の海水浴場の整備計画があるか知りたい。(1件)
- ・海つり公園が利用できるように(3件)
- ・小中学生からもっとアイデアを聞いて欲しい(1件)
- ・生き甲斐とか健康とかテーマで関係者が協力して進める工夫(1件)

事後評価アンケート結果

整理番号 H22 - 2

事業名	海岸環境整備事業	箇所名等	三沢漁港海岸
-----	----------	------	--------

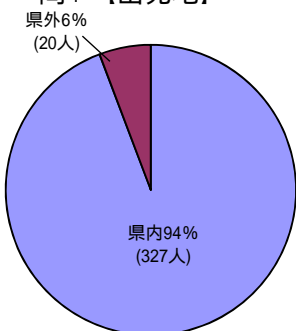
アンケート対象	現地アンケート調査は、「三沢ビートルビーチ」で聞き取り調査を行った。 7月31日(土) 9:00 ~ 16:00(雨のち曇り) 8月 1日(日) 9:00 ~ 16:00(曇りのち晴れ) 8月 7日(土) 9:00 ~ 16:00(晴れ) 8月 8日(日) 9:00 ~ 16:00(晴れ)
---------	---

アンケート結果	
---------	--

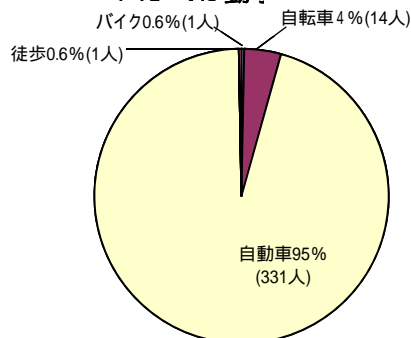
表 聞き取り調査日と聞き取り人数

調査日	人数
7月31日	44
8月1日	93
8月7日	119
8月8日	91
合計	347

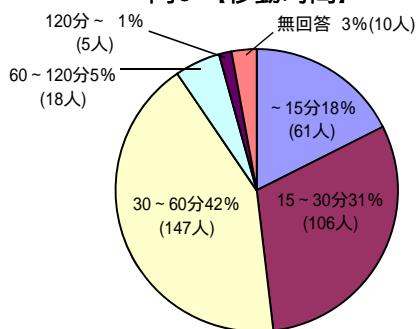
問1 【出発地】



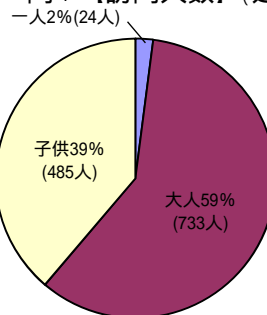
問2 【移動手段】



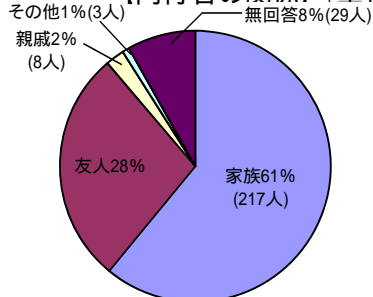
問3 【移動時間】



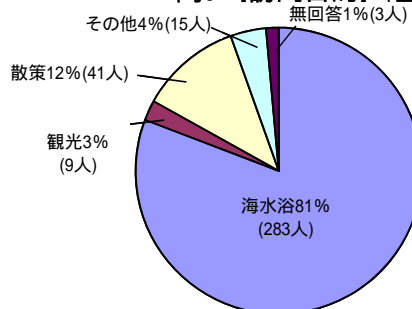
問4 【訪問人数】(延べ人数)



問5 【同行者の関係】(重複回答可)



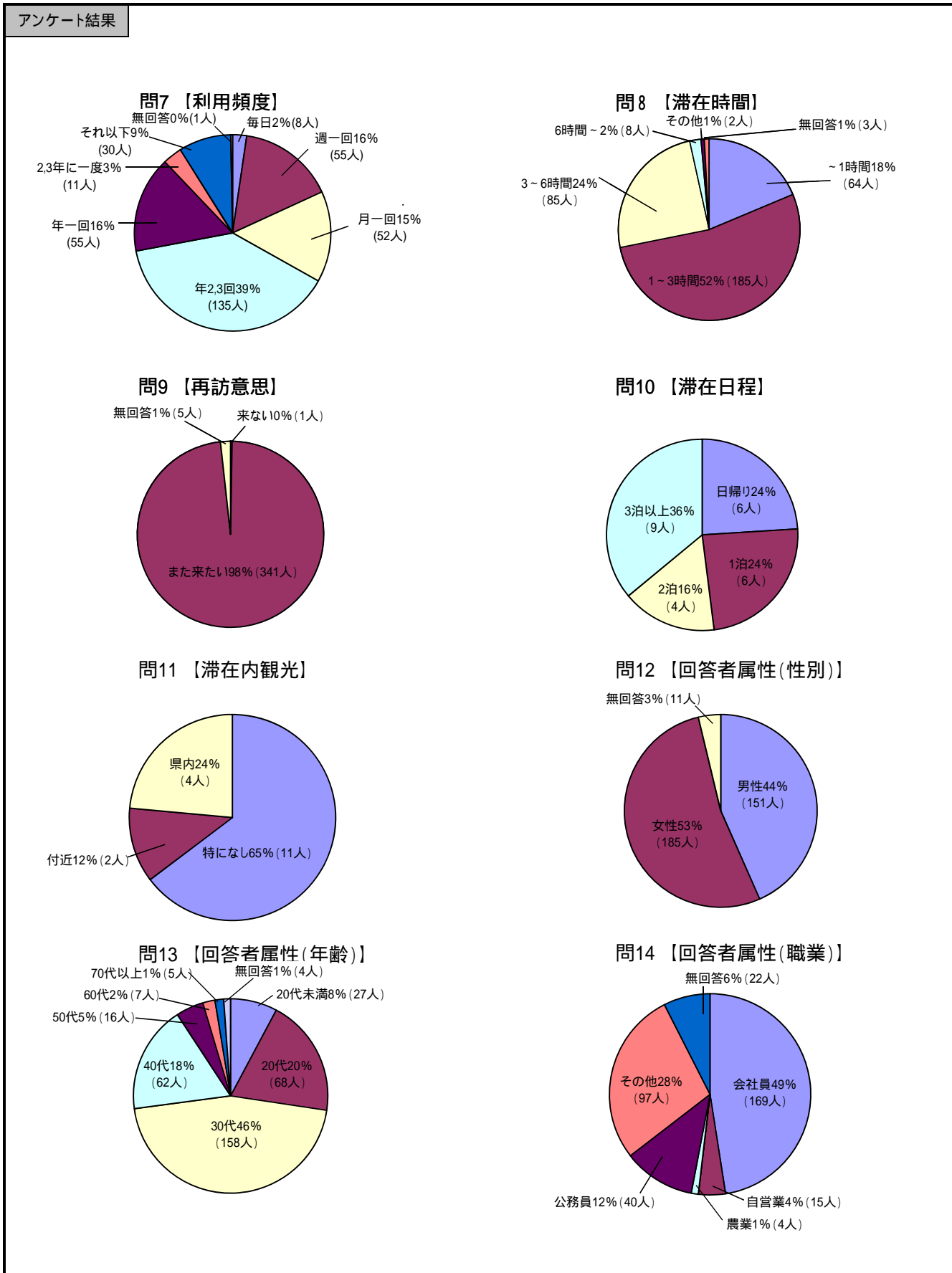
問6 【訪問目的】(重複回答可)



事後評価アンケート結果

整理番号 H22 - 2

事業名	海岸環境整備事業	箇所名等	三沢漁港海岸
-----	----------	------	--------



(別紙)

事後評価箇所状況写真

整理番号 H22 - 2

事業名	海岸環境整備事業	箇所名等	三沢漁港海岸
-----	----------	------	--------

空中写真による事業状況の推移



平成5年11月撮影



平成18年 8月撮影

(別紙)

事後評価箇所状況写真

整理番号 H22 - 2

事業名	海岸環境整備事業	箇所名等	三沢漁港海岸
-----	----------	------	--------

全景



海水浴場利用状況

(平成22年8月8日の利用状況)

(別紙)

事後評価箇所状況写真

事業名	海岸環境整備事業	箇所名等	整理番号 H22 - 2 三沢漁港海岸
-----	----------	------	------------------------



トイレ・シャワー棟



駐車場利用状況

(平成22年8月8日の利用状況)

(ほぼ満車状態で、乗降時には路上にも停車していた)

費用対効果分析説明資料

整理番号 H22 - 2

事業名	海岸環境整備事業	箇所名等	三沢漁港海岸
-----	----------	------	--------

【費用対効果の算定内容】

1. 費用対効果の算定根拠

算定の考え方は『海岸事業の費用便益分析指針(改訂版)』(平成16年6月 農林水産省農村振興局・農林水産省水産庁・国土交通省河川局・国土交通省港湾局)による。

また、算定手法については『水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン』(平成22年4月改訂、水産庁漁港漁場整備部)を参照した。

費用対効果の算定には、整備に係る総費用及び維持管理費について現在価値化したものを費用(C)、海岸利用・海岸環境保全効果について貨幣化したものを便益(B)として評価するものである。

2. 算定の前提条件

(1) 費用及び便益の現在価値: 投資額、耐用年数期間内に発生する年間便益を、現在価値化(社会的割引率4%)して用いる。

また、費用便益分析で扱う費用は、各種費用から消費税を控除した金額を使用する。

(2) 評価基準年度: 平成22年度

(3) 評価期間: 事業期間 + 50年(供用期間)

3. 総費用(C)の算定

(金額単位: 千円)

項目	単純合計	基準年における現在価値	備考
事業費	4,756,688	7,370,367	事業期間H3～H17
維持管理費	43,200	22,585	864千円/年(H16～H20実績の平均)
合計	4,799,888	7,392,952	

4. 総便益(B)の算定

海岸環境保全便益を仮想市場法(CVM)で、海岸利用便益を旅行費用法(TCM)で算出した。

CVMでは、三沢ビートルビーチから30km以内の世帯を無作為に抽出してアンケート調査を実施し、支払意志額を推定した。

TCMでは、三沢ビートルビーチへの訪問に必要な旅行費用を現地での聞き取り調査を基に推定した。

このとき、一般化費用(=旅行費用+機会費用)のうち機会費用(時間価値)について、時間の機会費用=賃金率として、便益を算出した。

なお、事業期間中の平成12年から暫定供用しているため、暫定供用期間は各年度の事業費に応じた便益を計上している。

(金額単位: 千円)

項目	単純合計	基準年における現在価値	備考
海岸環境保全便益(CVM)	9,267,750	5,920,000	185,355千円/年
海岸利用便益(TCM)	3,956,250	2,527,151	79,125千円/年
合計	13,224,000	8,447,151	

【費用対効果分析の結果】

$$B(\text{総便益}) / C(\text{総費用}) = 8,447,151 \text{ (千円)} / 7,392,952 \text{ (千円)} = 1.14$$

平成13年度 漁港事業再評価

事業名	三沢漁港海岸環境整備事業				
地区名		事業採択年度	平成3年度	現地着工年度	平成3年度
全体事業費	施設名				
46億1千9百万円	護岸(階段式)	308m、	護岸(緩傾斜)	178m	
	離岸堤	105m、	潜堤	70m	
	突堤	720m、	緑地広場	16,000㎡	
	駐車施設	11,000㎡、	附帯施設	1式	
関連事業の進捗状況					
第9次漁港整備長期計画に基づき、修築事業を施工中である。					
平成13年度までの投資額		37億5千3百万円			
事業の目的・内容					
三沢漁港海岸環境整備事業は、近年の海洋性レクリエーションに対するニーズの高まりと、近隣市町村に海水浴場が整備されていないという地域事情に対応して策定されたものであり、併せて地域の活性化及び海岸域の有効利用を主目的としているものである。					
社会経済情勢					
三沢市は「ミス・ビードル号」太平洋無着陸横断の出発点として全国的に有名であり、それにちなんだイベントが毎年行われている。隣接する市町村の中で唯一の海水浴場ということもあって、かなりの来場者数が見込まれている。					
事業の進捗状況					
平成13年度末の進捗率は81%であり、昨年度にはトイレ・シャワーと駐車場を整備し暫定的に供用を開始した。平成14年度には外郭施設である防砂突堤の完成と、親水施設を整備する予定である。今後も整備計画に基づき、平成16年度完成を目指して事業を推進したい。					
事業コスト縮減や代替案の可能性					
平成10年10月に漁港課で策定したコスト縮減チェックリストを用いコスト縮減を検討している。また、埋立土については三沢漁港の浚渫土を利用しコスト縮減を図りたい。					
事業進捗が順調でない原因等					
平成16年度完成に向けて順調に推移している。					
今後の対応方針		継 続			
今後も整備計画に基づき努力していく。					